

今木・赤山配水区域統合整備事業設計施工業務 事業者審査結果について

今木・赤山配水区域統合整備事業設計施工業務について、公募型プロポーザル方式により事業者の審査を行ったところ、下記のとおり決定いたしました。

記

- 1 委託業務名 今木・赤山配水区域統合整備事業設計施工業務
- 2 受注候補者 該当なし
- 3 理 由 本プロポーザルの参加者が1者のみであり、参加者の総合評価点が60点未満となり失格となったため。
- 4 選 定 委 員（順不同）
 - 委員長 上下水道局長
 - まちづくり推進部長
 - 建設部長
 - 上下水道局次長 兼 上水道工務課長
 - 上下水道局総務課長
 - 上下水道局浄水課長
- 5 外部有識者（順不同）
 - 金沢大学 名誉教授 宮島 昌克
 - 大阪工業大学 教授 笠原 伸介
- 6 外部有識者意見
 - 工事期間の削減については、クリティカルパスを明確にして工期内完成の提案がなされている。設計・施工の遅延回復措置については、比較的、具体的かつ明確に記載されている。
 - 職員の負担軽減については、HP を開設して住民からの苦情や要望を集約するとされているが、住民が HP を見るか、苦情を HP に寄せるかという点で現実的でない。

実効性のある提案が望まれたところである。HP の広報を市が実施する点も気になるところである。

○QR コードの活用については、提案は産業振興について説明されていたが、仮囲いに QR コードを設置して、市が水道の広報に活用するなど、使い方次第ではなにか違った活用も考えられ、ユニークな提案と感じた。

○その他の提案の非開削工法の集中管理体制と運転支援は独自性があるとともに、具体的で強力な体制を確認できたので、評価できる。

○全体を通して、提案というよりも当然に行うべきことが記載されており、一般的な内容に終始していると感じた。独自の具体的な提案が望まれたところである。特に、職員の負担軽減につながる画期的な提案が見られない印象である。

○事業を実施した後に、市の財産になるような $+\alpha$ の提案、職員の負担軽減につながる $+\alpha$ の提案が見られなかったのが残念である。

以上